

第17回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議

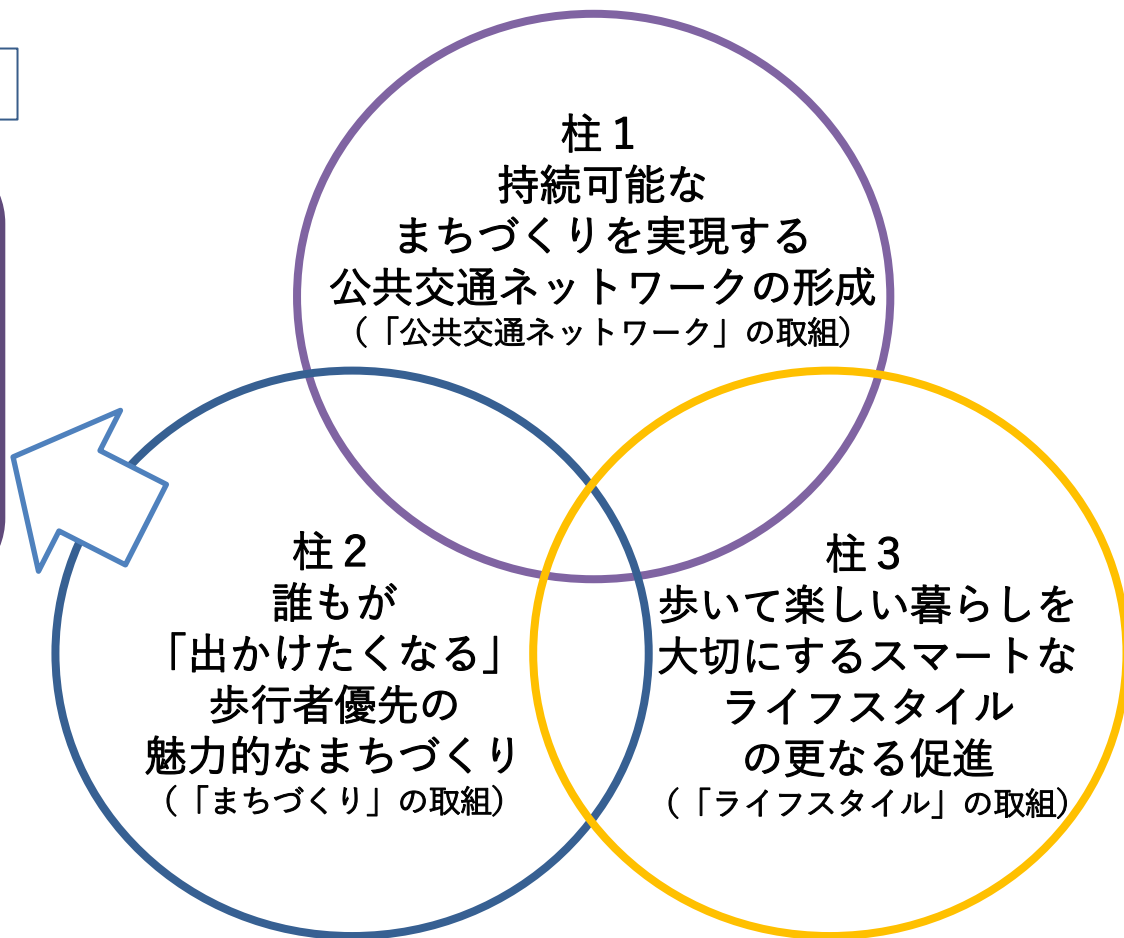
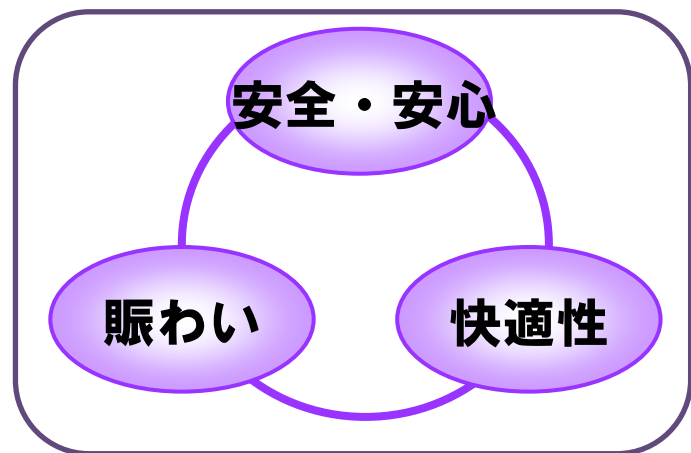
もっと「歩いて楽しいまちなか」にするために

令和7年7月11日

1. 「歩くまち・京都」の取組

「歩くまち・京都」総合交通戦略2021

「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進



【指標・目標数値】

非自動車分担率 85%以上

【モニタリング指標】

①市民の休日における外出率②市民の実感・満足度

「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進



四条通エリアマネジメント

統合

「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議

物流WG

- ・ 物流の整序化
- ・ 荷主・物流業界との連携
- ・ 安心・安全に歩ける空間創出

タクシー駐停車マナー向上

- ・ 利用者・乗務員双方のマナー向上
- ・ 安心・安全に歩ける空間創出

地域、各業界関係者、警察、行政が連携し、
「歩くまち・京都」の実現を目指す。

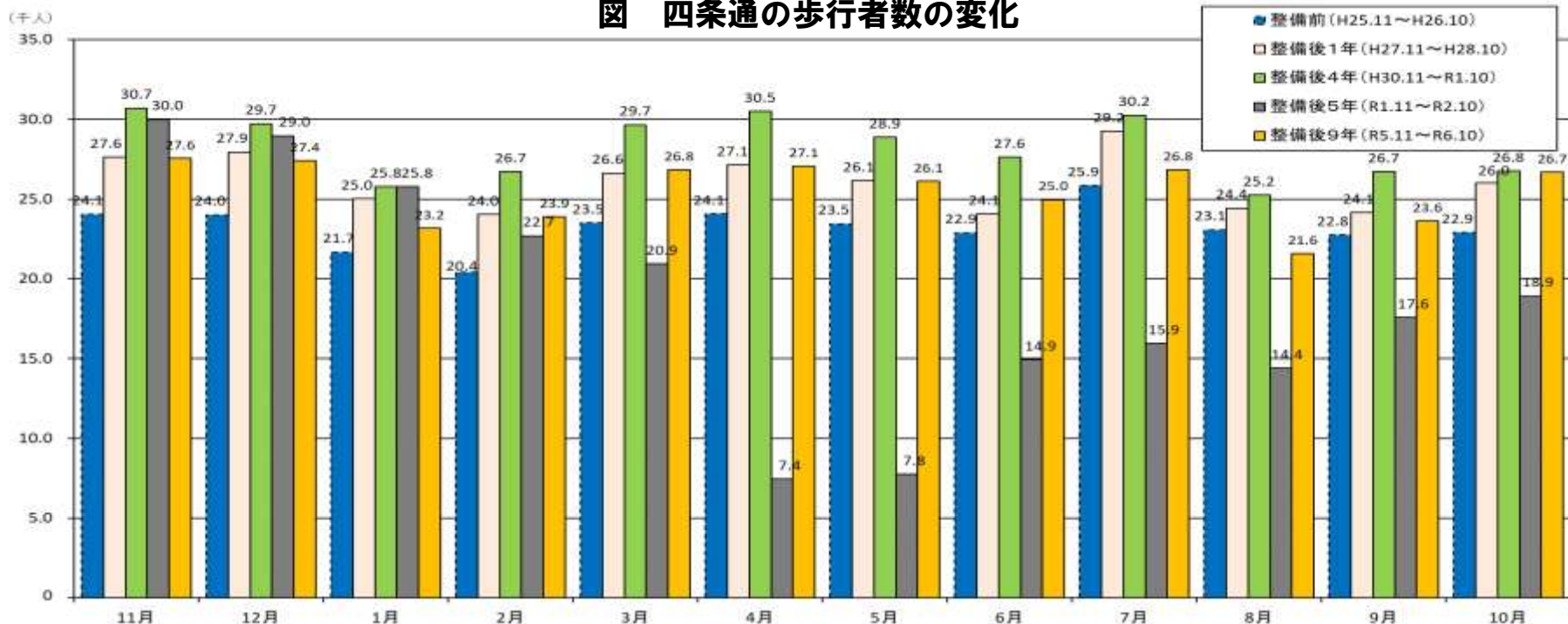
2. まちなかの現状

< 1 賑わい > まちなかの歩行者数 (① 四条通)

- 四条通の歩行者数は拡幅整備後、増加傾向（コロナ前は、整備前比約2割増）。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な減少があったものの、令和3年11月以降徐々に回復傾向にあり、整備後9年の令和5年11月～令和6年10月の間では整備前から約1割増。

整備前	(平成25年11月～平成26年10月) : 23.2千人/日
整備後1年	(平成27年11月～平成28年10月) : 26.0千人/日 (整備前比: 12.1%増)
整備後4年【コロナ前】	(平成30年11月～令和1年10月) : 28.2千人/日 (整備前比: 21.4%増)
整備後5年【コロナ禍】	(令和1年11月～令和2年10月) : 18.8千人/日 (整備前比: 19.2%減)
整備後9年	(令和5年11月～令和6年10月) : 25.5千人/日 (整備前比: 9.7%増)

図 四条通の歩行者数の変化



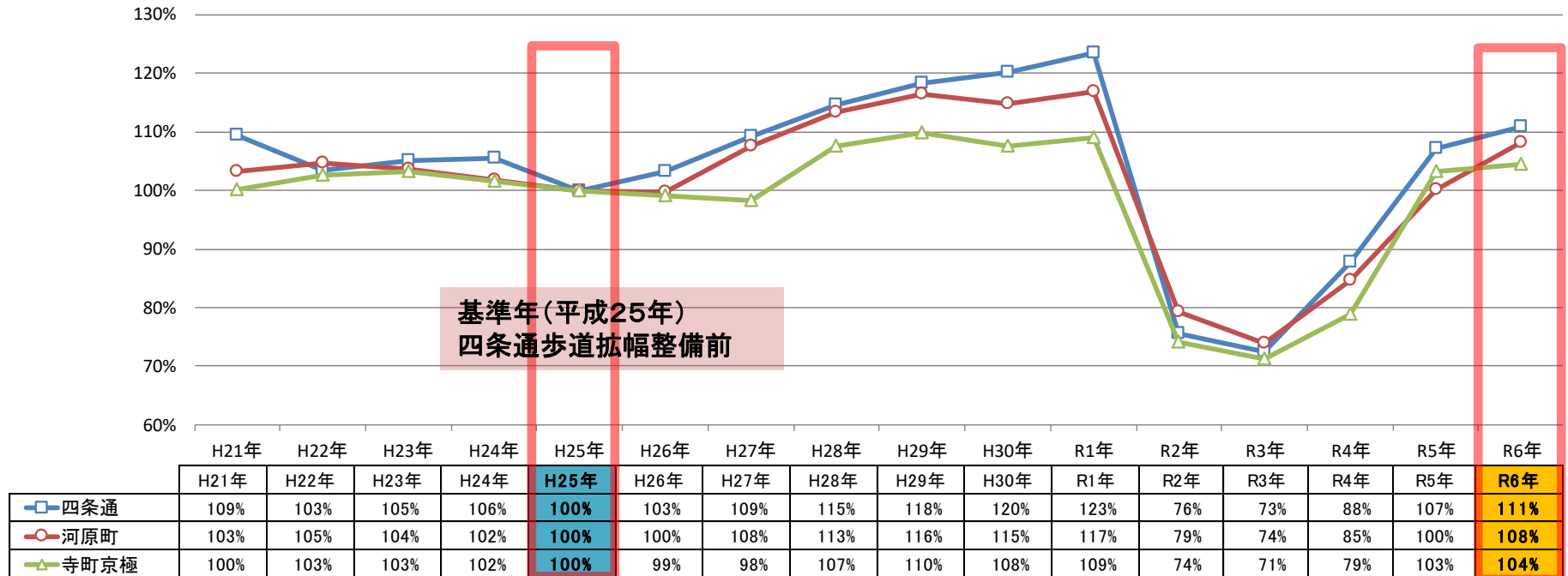
※四条繁栄会商店街組合からの提供データをもとに、京都市で集計したもの
 ※平成27年9月に歩行者カウンターのセンサー範囲を拡幅後の歩道まで拡大
 ※歩行者カウンターの不備等により正確に測定できていない日は集計から除外している

< 1 賑わい > まちなかの歩行者数（② まちなか）

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年～3年にかけて大幅に減少したが、令和5年に平成25年（歩道拡幅整備前）と同程度まで回復し、令和6年はさらに増加した。



< H25(1月～12月)の年間平均値を100%として、各年次の年間平均値と比較したもの >



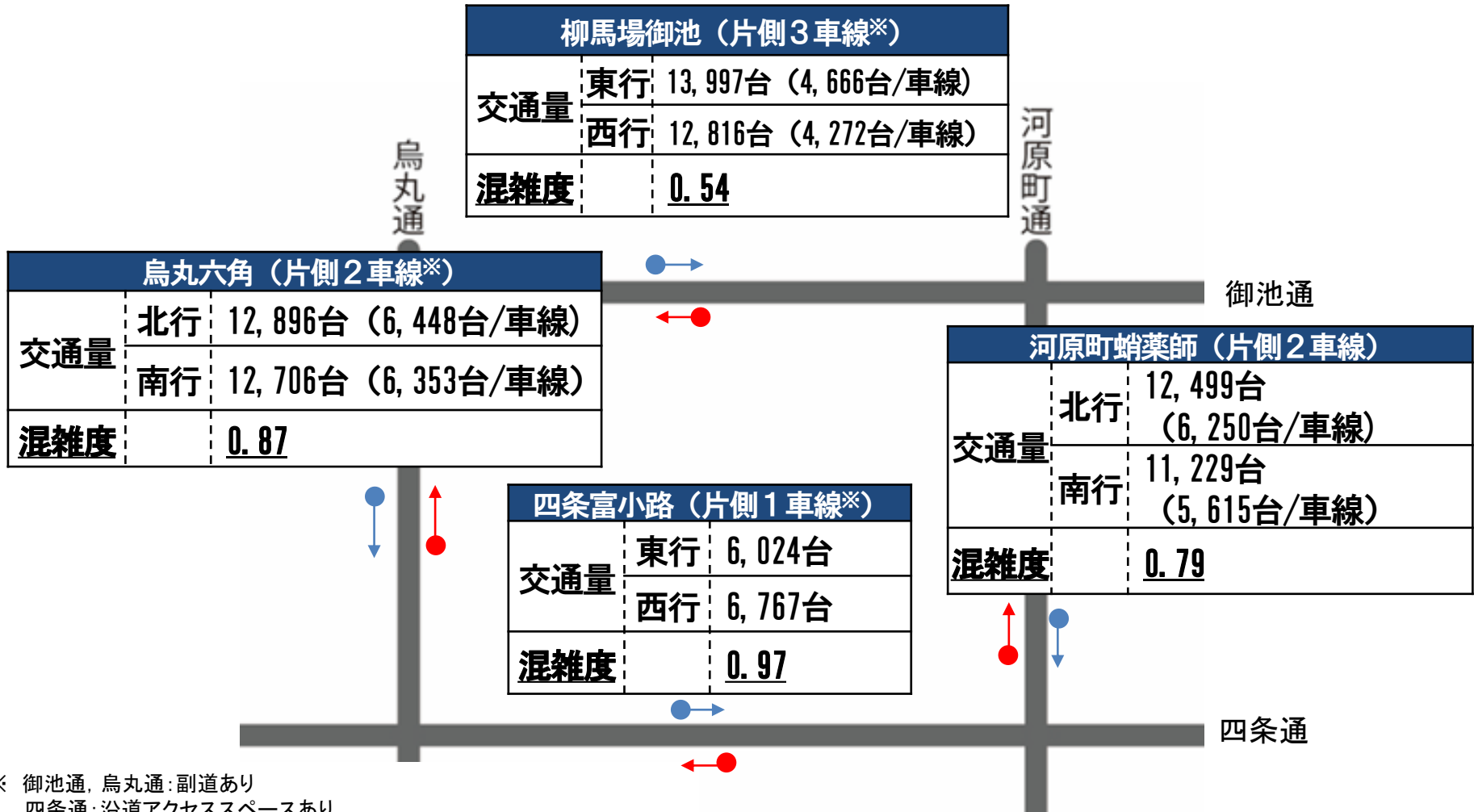
※各商店街振興組合からの提供データをもとに、京都市で集計したもの

※歩行者カウンターの不備等により正確に測定できていない日は集計から除外している

図 まちなかの歩行者数の変化

< 2 交通 > 幹線道路の交通量

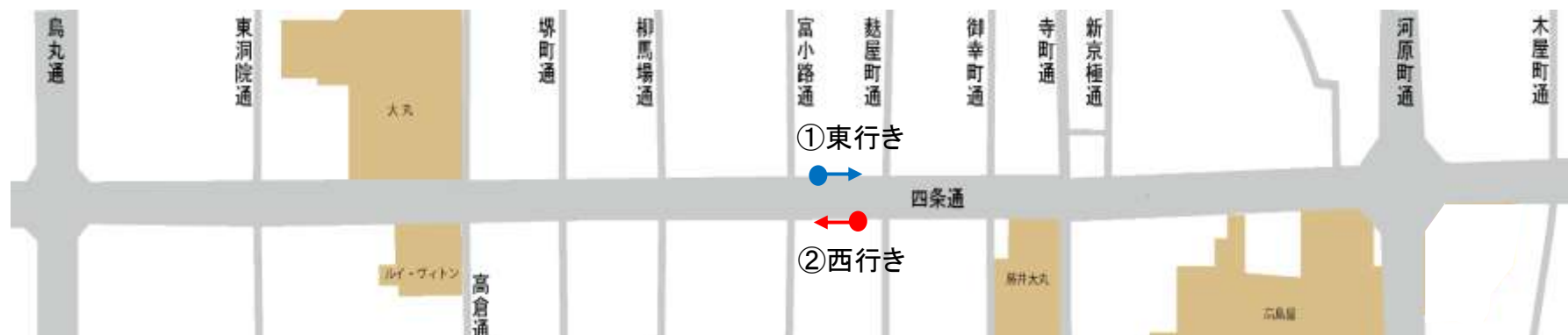
- 歴史的都心地区を構成する幹線道路について、交通量及び混雑度を踏まえると、**東西交通においては四条通から御池通への迂回が必要であることがわかる。**



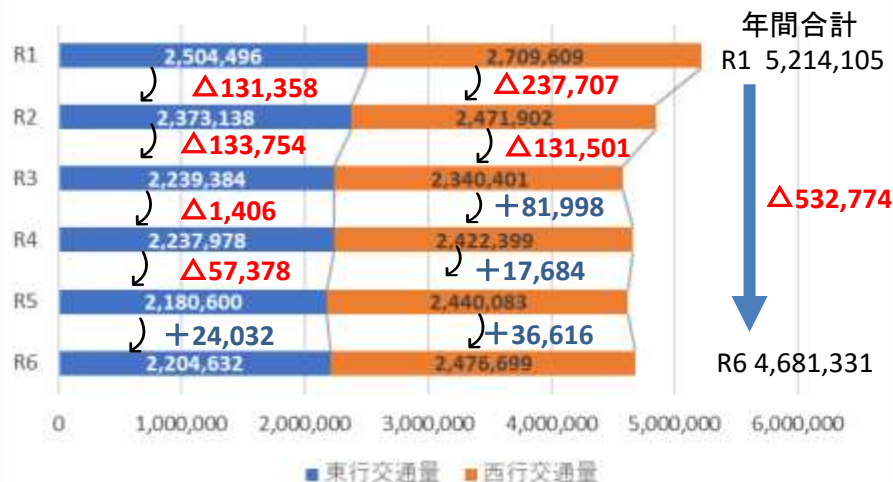
※ 御池通, 烏丸通: 副道あり
 四条通: 沿道アクセススペースあり
 ※ 混雑度については、令和3年全国道路・街路交通情勢調査を基に算出

< 2 交通 > 四条通の交通量

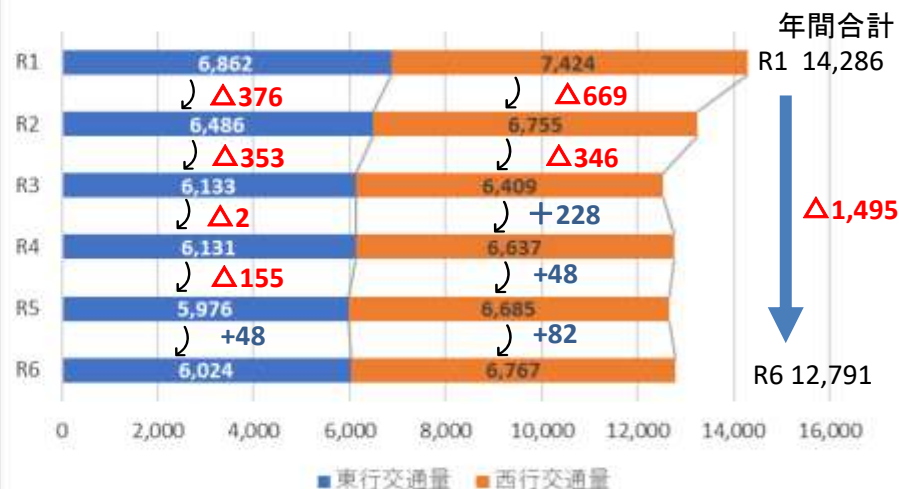
・交通量については**増加傾向にあるがコロナ禍前（令和元年）には達しておらず、公共交通機関等をご利用いただいているものと考えられる。**



年間交通量



1日当たりの交通量



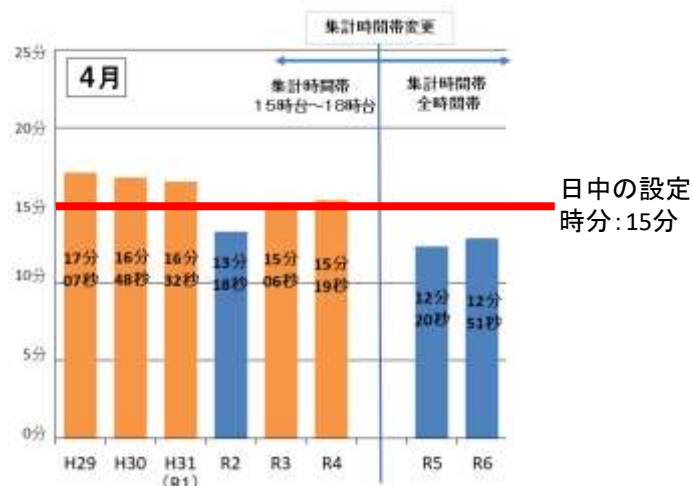
< 2 交通 > 市バスの平均運行時間

(資料) 京都市交通局

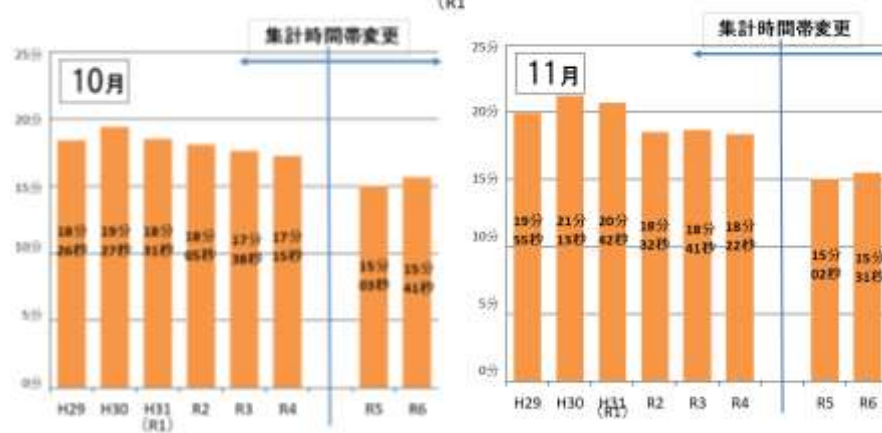
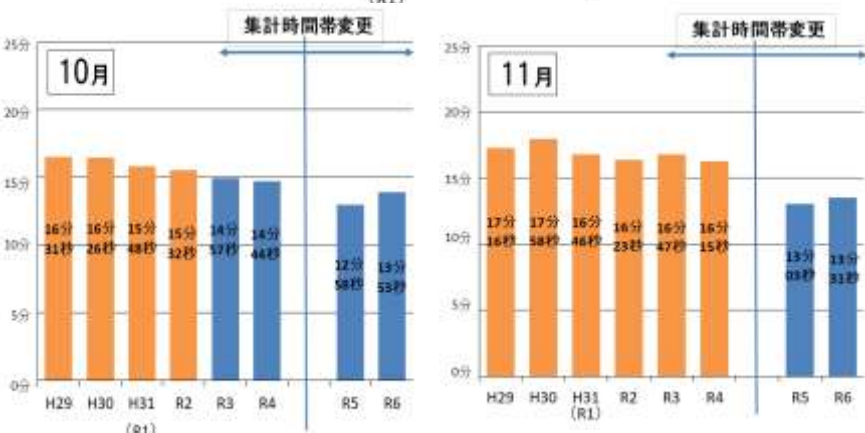
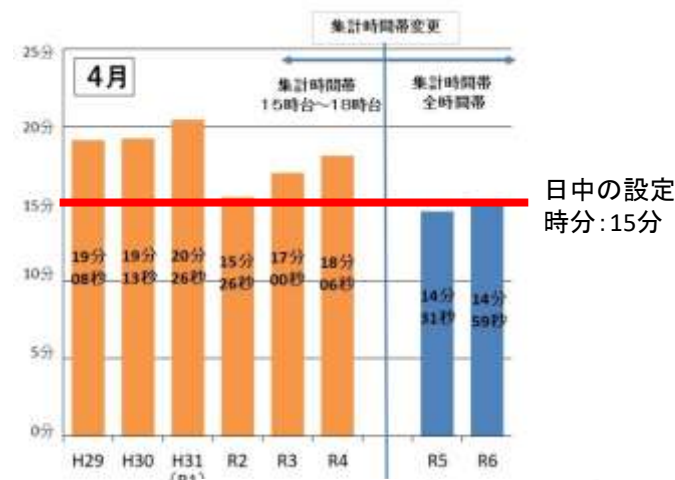
【区間：四条堀川交差点～祇園交差点】

令和5年以降について、概ね日中(10時頃～18時頃)の設定時分(15分)を下回っている。

<東行>



<西行>

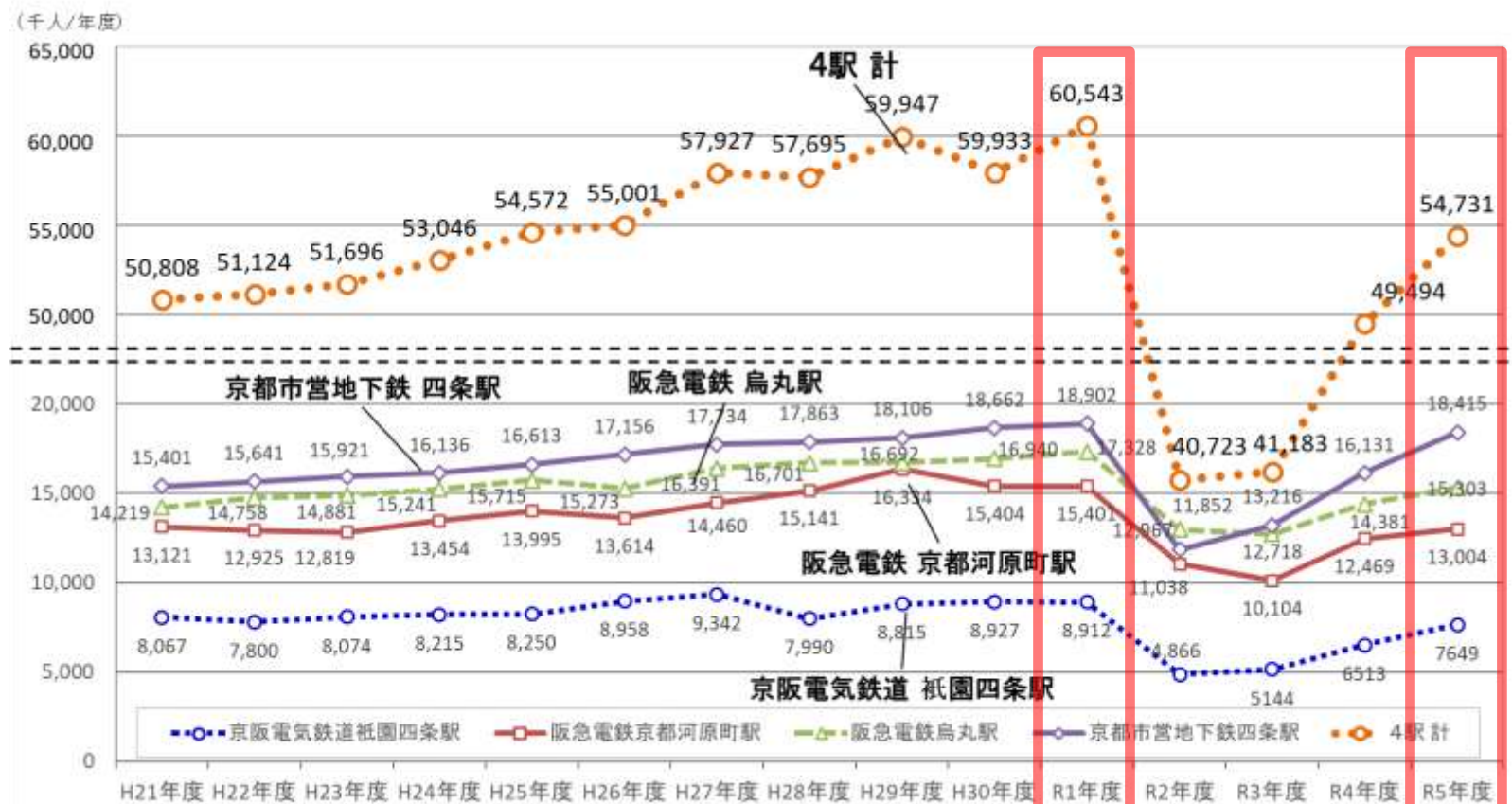


【設定時分】始発～9時頃: 11分～14分、10時頃～18時頃: 15分、19時頃～最終: 12分～14分

【集計対象】令和4年度以前の集計 4月(1～30日)、10月(1日～31日)、11月(1日～30日)の15時台～18時台
令和5年度以降の集計 4月(17～30日)、10月(1日～14日)、11月(17日～30日)全時間帯

< 2 交通 > 公共交通による来訪者数

- 四条通整備区間周辺の鉄道駅の乗車人数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2～3年度は大幅に利用者数が減少。令和5年度は前年に比べ増加したが、コロナ前の利用者数には達していない。



※平成28年度に一部事業者の算定方法に変更があった

図 四条通整備区間周辺の鉄道駅乗車人数の推移

資料：京都市調べ

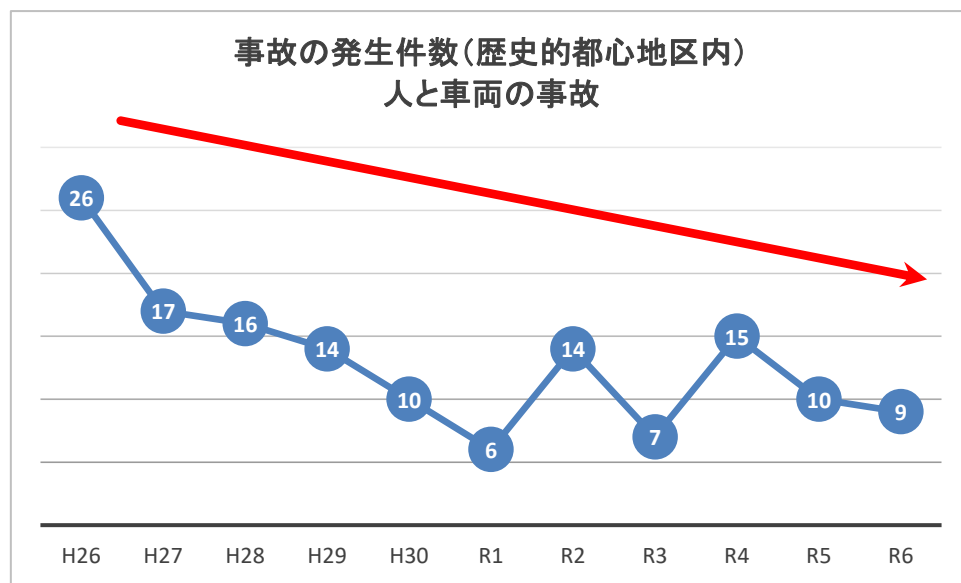
< 3 安心・安全 > 交通事故件数の推移

- 歩いて楽しいまちなかゾーンの整備はもとより、警察行政商店街地元の連携した取り組みにより、歴史的都心地区（※）内における人と車両が関係する**事故の件数は、減少傾向にある。**

交通事故の発生件数（人と車両）
R6.1.1～R6.12.31 9件



< 事故発生件数の推移 >

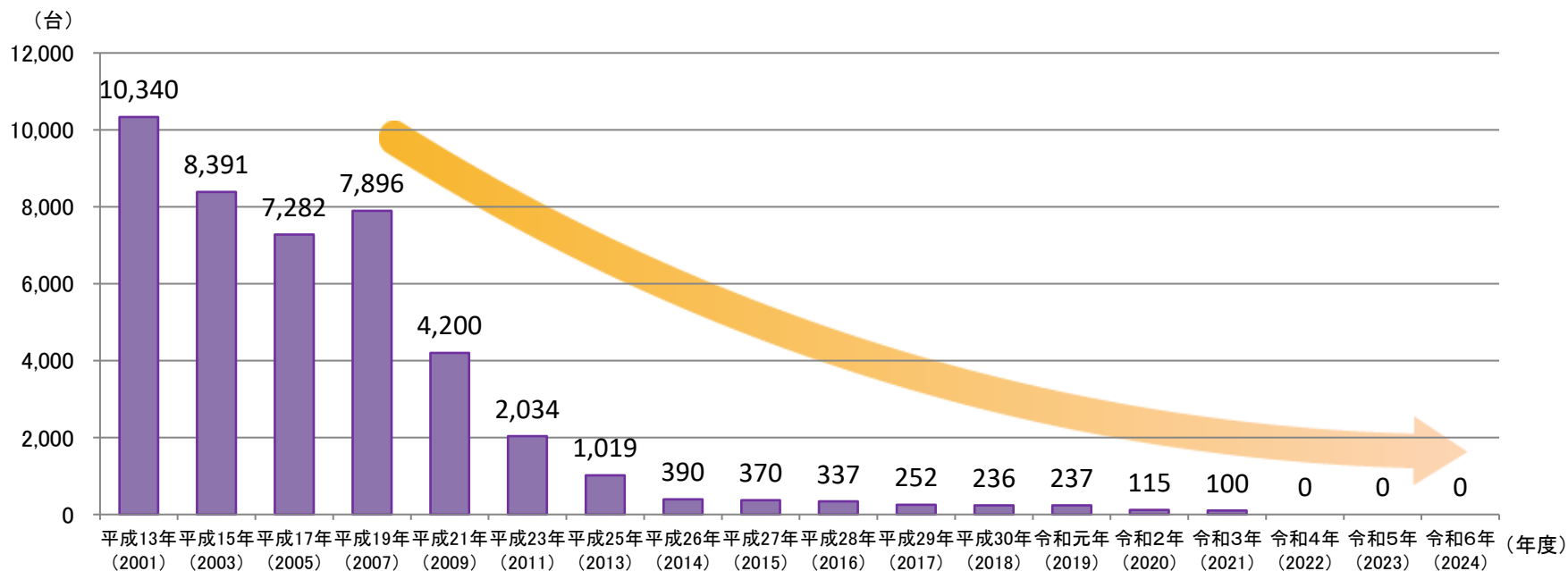


平成26年 26件 → 令和6年 9件（65%減）

（※）歴史的都心地区とは・・・四条通、河原町通、御池通、烏丸通に囲まれた地区

< 3 安心・安全 > 放置自転車の現況

- 京都市における自転車の放置台数は大きく減少している。



※ 10～11月の晴天の平日、概ね午前11時時点において、市内各駅のうち1駅における放置台数が100台以上の駅を集計対象に放置台数を集計した値

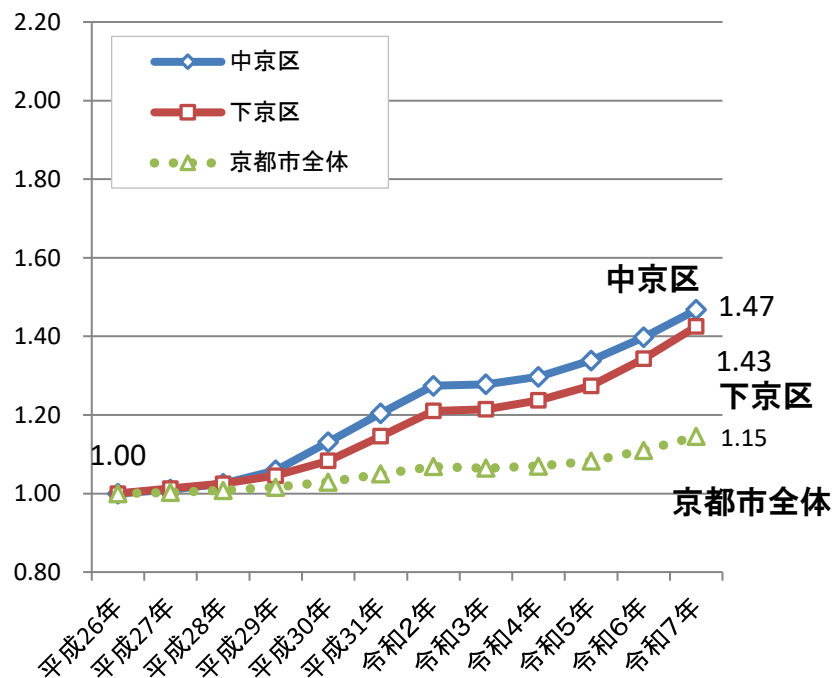
資料：京都市

図 自転車の放置状況

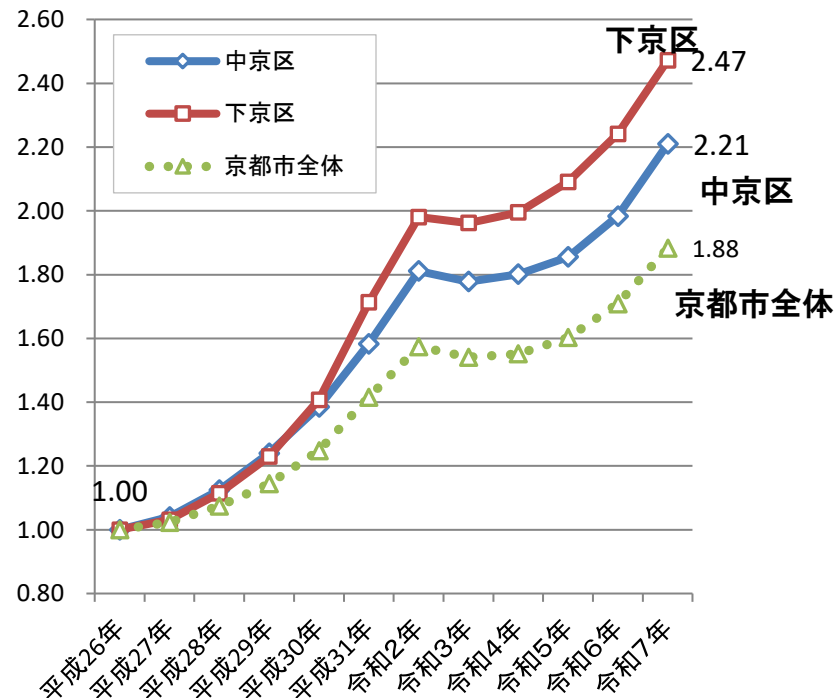
< 4 地域の価値 > 地価公示価格の推移

- 平成26年以降、中京区と下京区における地価公示価格の伸び率は毎年上昇していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一時的に住宅地では横ばい、商業地では下落した。令和4年以降は上昇傾向にある。（※令和7年1月1日時点）。

<住宅地>



<商業地>



※基準日は各年の1月1日

資料：地価公示（国土交通省）

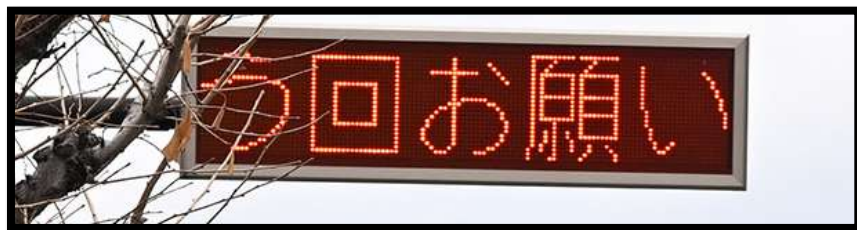
図 中京区及び下京区における地価公示価格の変化（左：住宅地、右：商業地）
（H26の年間平均値を1.0として、比較したもの）

3. 令和6・7年度の主な取組について

(1) まちなかへの車両流入抑制対策

- 迂回誘導看板、電光表示板の設置及び国道情報板を活用した周知【通年】

電光表示板 15箇所



迂回誘導看板 19箇所



3. 令和6・7年度の主な取組について

(2) 四条通エリアマネジメント

まちなかにおける賑わいの創出及び「歩くまち・京都」の推進に係る情報の周知・広報

フリーペーパー「ハンケイ500m」でのまちなかの魅力等発信(地下鉄駅等で無料配布 部数:3万部)
(令和6年11月、令和7年1月、3月掲載)

※令和7年度継続実施予定



(3) 物流の整序化に向けた取組

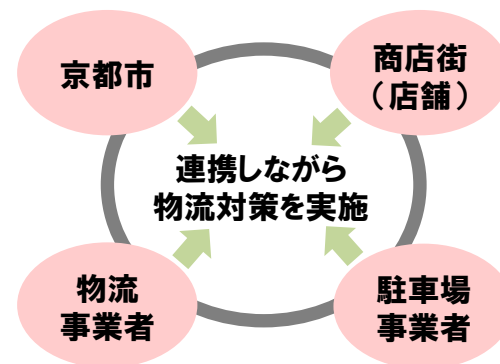
① 物流の整序化の目的

「歩いて楽しいまちづくり」を進め、賑わいを創出する

誰もが安心・安全で快適に歩ける歩行空間を確保しながら、
地域活動や普段の生活に欠かすことのできない「物流」を機能させる

② 物流の整序化の考え方

- 物流車両の路上駐停車は、荷主（店舗等）の依頼に応じて荷物を配達する際に発生
- まちなかの物流環境をより良くするためには商店や物流事業者などの関係者が協力し合い、「物流の構造に対する理解」を深め、「まちへの気遣い」を継続させていくことが重要
- 地域全体でまちなか物流の改善に向けた問題意識を共有



③ 令和6・7年度 取組内容

1) 四条通沿道アクセススペースへの啓発物の設置

令和5年春以降、外国人観光客を運送する乗用車（ワゴン車）が沿道アクセススペースに長時間駐車している状況が散見され、荷捌き車両の妨げになっていることから、啓発物を設置（全15箇所）



2) 商店街店舗に対するアンケート調査

商店街店舗の物流に対する現状把握や意識の向上を目的とした納品・荷捌き等のアンケートを実施（令和7年2月～3月、回答数約60件）

- アンケート継続的な実施（平成29年度～）により、物流課題の解決に対する地域の商店店舗の理解が深まっている。

Q あなたは路上駐停車や路上荷捌き等の物流問題の解決が必要だと思いますか？

A 「必要だと思う」 平成29年度 58.9% → 令和6年度 67.7%

3) 関係機関の合同による啓発活動

四条通において、近畿運輸局 京都運輸支局、京都府警本部、下京警察署、タクシー業務センター、京都市の合同で、違法駐停車に対し指導啓発を行う中心市街地重点路線等クリア作戦や白タク啓発を実施。



(4) タクシー駐停車マナー向上の取組

令和6・7年度 タクシー駐停車マナー向上 主な取組内容－1

【利用者(乗客)に対する取組】

取組名	期間	対象など	取組内容	取組主体
「タクシー駐停車マナー改善ナッジ(※)」による啓発	令和4年2月14日～	・四条河原町交差点 ・四条通タクシー乗り場(二箇所)	タクシー利用者・運転手に対し、行動変容を促すような感覚的にわかりやすい看板等を設置。	・京都市 ・株式会社NTTデータ経営研究所
タクシー車内での啓発 (京都市内を運行するタクシーのヘッドレストを活用した啓発)	令和6年11月 ～令和7年3月末頃 (令和7年度も継続予定)	市内タクシー事業者 70社	駐停車禁止区域等の情報をタクシー車内に掲出し、乗客に対して乗降マナーの周知を図る。	・市内タクシー事業者 ・京都市



「タクシー駐停車マナー改善ナッジ」による啓発
(タクシーフラッグ)



タクシー車内での啓発

※ナッジとは…「人々が強制的ではなく、より良い選択を自発的に取れるようにする方法を生み出す」行動経済学上の理論。

【運転手、事業主に対する取組】

取組名	期間	対象など	取組内容	取組主体
中心市街地重点路線等 クリア作戦	月1回	四条通、烏丸通、 河原町通	違法駐停車車両の指導・啓発 を行う。	・京都タクシー業務センター ・京都運輸支局 ・京都府警 ・京都市
事業者、運転手向けのマナー啓 発	随時	・事業主、運転手 ・個人タクシー	認定講習や個人タクシー研修 会での駐停車マナー啓発	・京都運輸支局 ・京都タクシー業務センター



歩道側



車道側

3「タクシー駐停車マナー改善ナッジ」による啓発看板
(四条河原町交差点)



4中心市街地重点路線等クリア作戦

4. タクシー駐停車マナー改善ナッジ

四条通へのタクシーマナー啓発看板の設置

概要

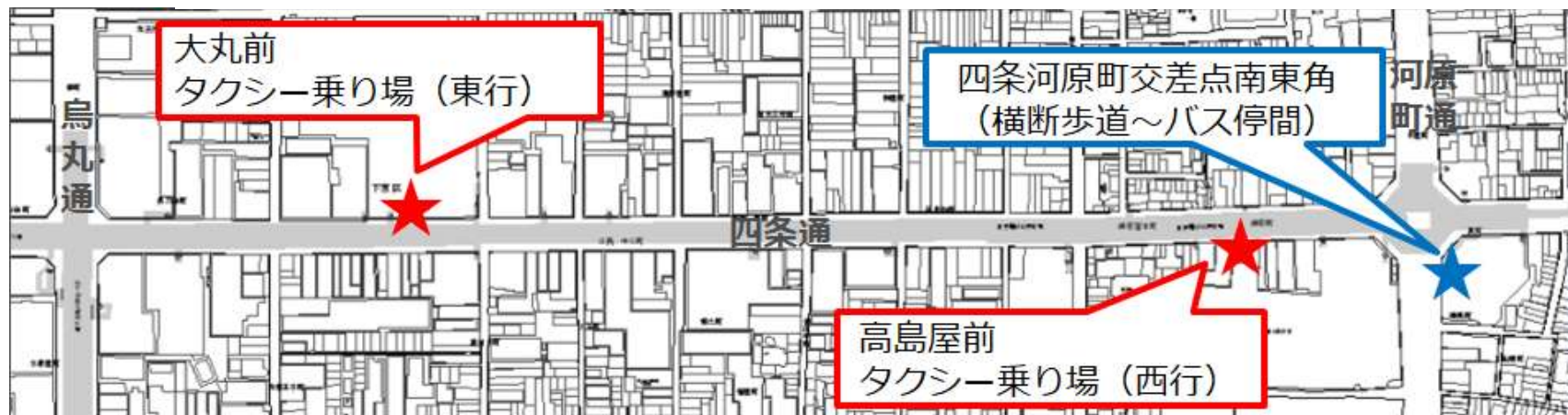
四条通のタクシー乗り場の適正利用(はみ出し停車の排除)、四条河原町交差点への違法駐停車の排除を目的に、それぞれ啓発物(看板・フラッグ)を設置

実施場所

四条河原町交差点南東角 (★) ⇒タクシー利用者、乗務員向け
四条通沿道タクシー乗り場(東行、西行) (★) ⇒タクシー乗務員向け

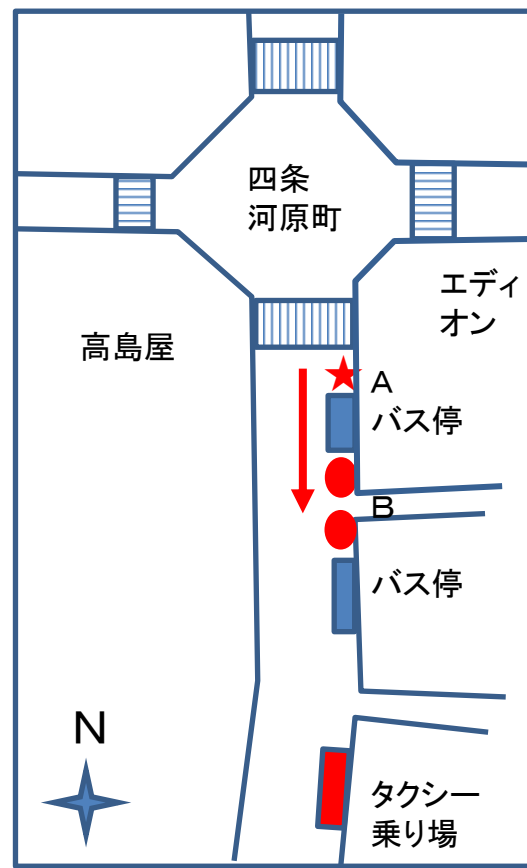
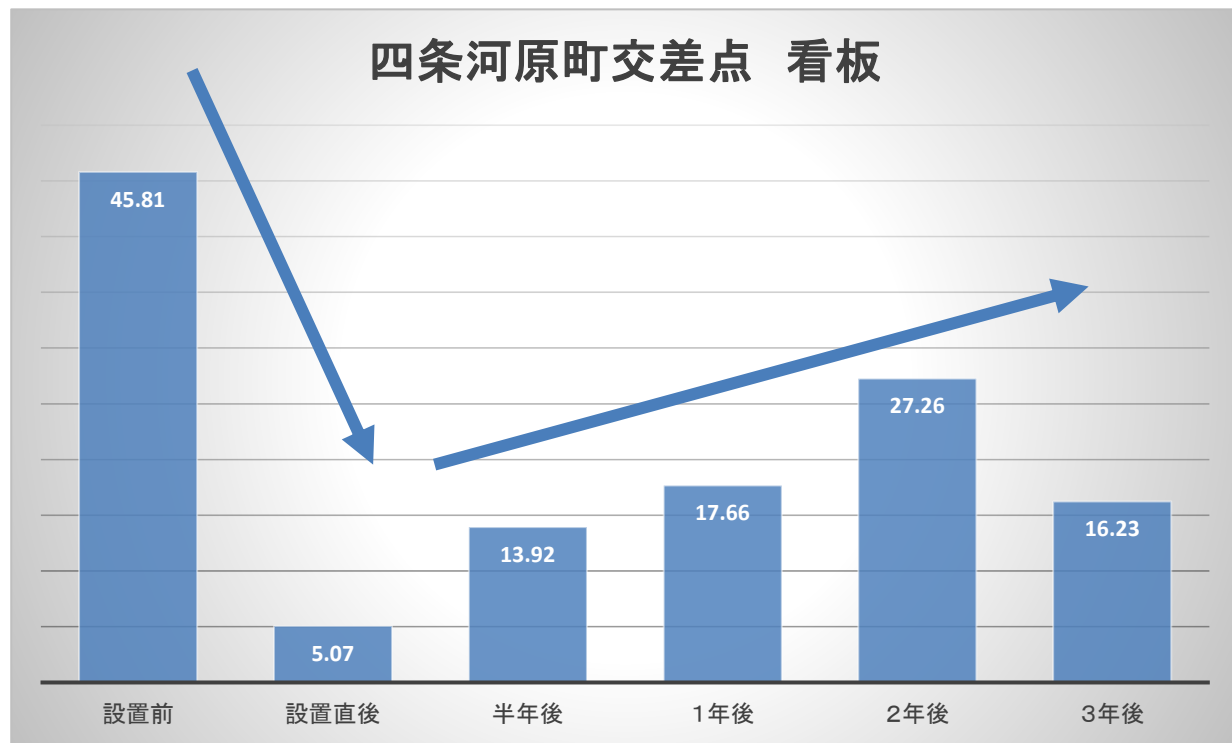
経過

令和4年 2月 ・設置前実態調査(2/8-10)
 ・設置(2/14)
 ・設置直後 効果検証(2/15-17)
 10月 ・半年後 効果検証(10/25-27)
令和5年 2月 ・1年後 効果検証(2/14-16)
令和6年 2月 ・2年後 効果検証(2/13-15)
令和7年 2月 ・3年後 効果検証(2/4-6) ※いずれも午後2時～4時の間



四条河原町交差点南東側（看板）

※ 数字は、調査中（3日間、各日14時～16時）にA地点に停車した車両の総停車時間を3で割り戻したもの（分）



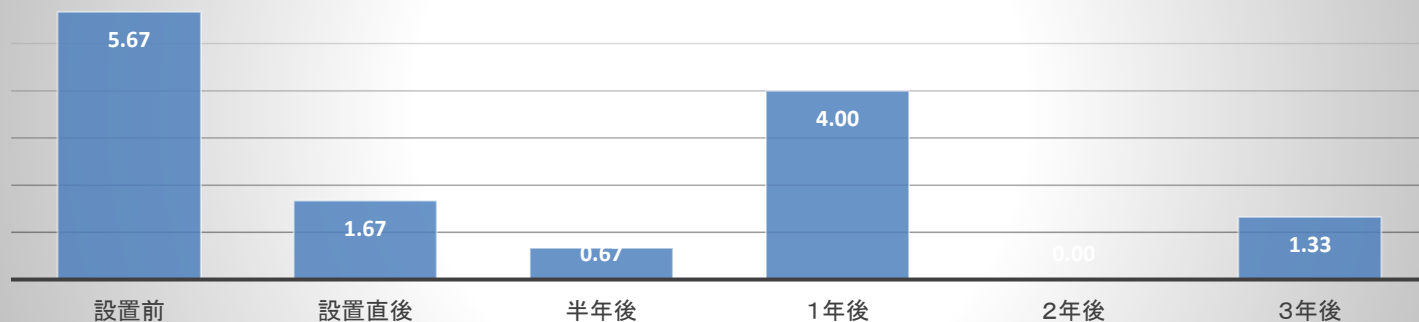
- 設置直後、90%減少。その後、駐停車時間が増加していたが、昨年度の調査では70%程度の減少に。（設置直後と比較して約3倍の増加）
- 一部のタクシーの長時間駐車が目立つ。
- 数分間駐車した後、南側にある市バス停留所の前方（B地点）へ移動し、長時間客待ちするタクシーも見られる。

タクシー乗り場

※数字は、1日(2時間)あたりはみ出し停車台数

高島屋前タクシー乗り場フラッグ

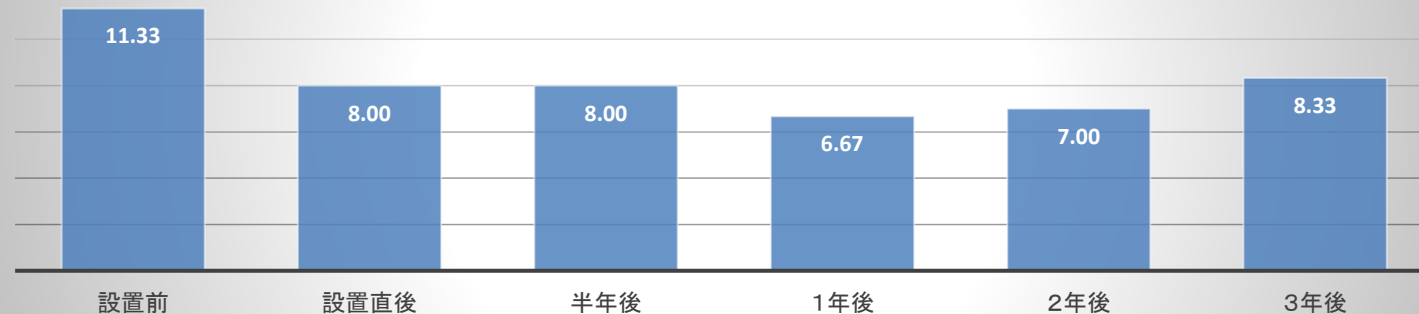
適正利用が定着



- 大丸前より停車可能台数が1台分多く、別途四条河原町南西にもタクシー乗り場があることから、需要と供給のバランスが保たれていると考えられる。

大丸前タクシー乗り場フラッグ

引き続き啓発が必要



- 設置以降、一定程度の整序化が図られているものの、すぐ後方にバス停があり、はみ出し停車がバスの発車を妨げているケースもあることから、引き続きマナー啓発が必要である。

5. 四条通地下道活性化事業

＜四条通地下道概要図＞



令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
KG+京都写真家協会写真展	KG+京都写真家協会写真展	KG+京都写真家協会写真展	スーパーマリオの世界が四条通地下道に出現！	スーパーマリオの世界が四条通地下道に出現！
四条通地下道SOCIAL ART MUSEUM	四条通地下道SOCIAL ART MUSEUM	京都レインボープライド2023	KG+京都写真家協会写真展	KG+京都写真家協会写真展
京都レインボープライド2021 (写真展)	報道写真記者と広告写真家の比較作品展	漢字コンテスト受賞作品展	「今年の漢字展」開催記念事業	四条通地下道アート展「Art Under the Shijo」
『天才アート展』	『天才アート展』	『天才アート展』	四条通地下道アート展「Art Under the Shijo」	『天才アート展』
みやこユニバーサルデザイン賞受賞作品展	みやこユニバーサルデザイン賞受賞作品展	スーパーマリオの世界が四条通地下道に出現！	『天才アート展』	
	「今年の漢字展」開催記念事業	四条通地下道アート展「Art Under the Shijo」	目をつむる写真展2025—ともに目をつむる—	
	漢字コンテスト10周年記念事業	文化庁からのメッセージ		
		京都西山フォト展		

■スーパーマリオの世界が四条通地下道に出現！の実施

任天堂株式会社が、世界的な人気を誇るゲームコンテンツ「スーパーマリオ」の世界を表現した装飾を展示

令和5年10月5日～



四条通地下道活性化事業

■ 四条通地下道アート展「Art Under the Shijo」の実施

- ・京都市内の大学でアートやデザインを学ぶ学生チーム6組が、四条通地下道に歩いて楽しめる空間を創出することを目指し、地下道の壁や柱に、アート作品を制作・展示

【令和6年度】

令和6年12月～令和7年2月 展示

【令和7年度】

令和7年11月～12月 展示予定

